

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0772800512	
法人名	医療法人 緑桜会	
事業所名	グループホーム東の広場	
所在地	福島県白河市東釜子字枇杷山66-5	
自己評価作成日	平成24年9月3日	評価結果市町村受理日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigo-fukushima.info/fukushima/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利法人 福祉ネットワーク
所在地	福島県いわき市錦町大島2
訪問調査日	平成24年10月15日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

平均年齢が88歳と高齢の方のご利用が多く、残念ながら身体機能も低下傾向です。そんな中でも、安心・安全な生活を送り、笑顔溢れる、楽しく和やかな環境作りを行っております。また、利用者の生活リズムを大切に考えながら、認知症緩和の取り組みも行ってあります。バランスの良い食事や酸素療法・生け花・お茶・フラダンス等取り入れ、認知症緩和と自立に向けた生活を支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

協力医療機関と密接な関係が築かれており、看護師も日常的に訪問している。職員の資質がさらに向上できるような教育や研修を充実させようとマニュアル化、システム化を検討している。広いウッドデッキを活用し、レクリエーションや行事を行い季節の移り変わりや、人々の暮らしが感じられる運営がなされている。

. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求 めていることをよく聴いており、信頼関係ができ ている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面が ある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地 域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関 係者とのつながりが広がったり深まり、事業所 の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表 情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね 満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な く過ごしている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスに おおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟 な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキ-) + (Enterキ-)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	(1)	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>施設内に基本理念を掲げ、スタッフがいつでも見られるようにしている。</p>	<p>管理者と職員は2週に一度行うユニット会議で法人全体と事業所の理念を確認、共有し実践につなげている。</p>	
2	(2)	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>月一回のボランティアの協力を得て地域交流として行っている。</p>	<p>地域のボランティア、中学校の見学実習等を受け入れ、交流を図っている。 学校行事の参加要請等も検討し地域との交流をこころがけている。</p>	
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>地元中学生の福祉体験学習を受け入れ、認知症を理解していただけるように努めている。</p>		
4	(3)	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>定期的に、運営推進会議を開催し、行政や地域住民の声を聞き、サービス向上に努めている。</p>	<p>前回の会議で取り上げられた事項について検討し、経過報告し活発な意見が交わされ、サービス向上に活かしている。</p>	
5	(4)	<p>市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>月に1度、介護相談員が来られ、情報の共有を行っている。</p>	<p>市の介護相談員と定期的に状況や情報を話し合っている。事業所の実情やケアサービスの取り組みについて積極的に報告し連携をとろうとしている。</p>	
6	(5)	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>常に目を配り、気配りを行い、拘束とならないように徹底して取り組んでいる。</p>	<p>職員全員が身体拘束をしない介護を基本としている。 非言語的コミュニケーションや言葉かけを工夫し、利用者の行動抑制をしないよう心掛けている。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>身体拘束、リスクマネジメント委員会で学習して、スタッフ間に周知している。</p>		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>全ての職員が対応できる様に、関係機関より学ぶ機会を得たいと思っている。</p>			
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>十分に説明し、同意を得たうえで契約を行っている。</p>			
10	(6)	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>日常生活の中での不満、不安、要望は傾聴してその都度対応している。</p>	<p>利用者、家族が意見、要望を言える雰囲気を作られている。</p> <p>苦情は宝物という思いを持ち、前向きに受け止め、日々のケアや運営に反映させている。</p>		
11	(7)	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員会議を行い、意見の場を持っている。</p>	<p>管理者と職員は日頃からコミュニケーションが図れる雰囲気がつくられている。</p> <p>職員の意見や要望を運営に反映させようとしている。</p>		
12		<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>就業規則にのっとり、働きやすい環境となっている。</p>			
13		<p>職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>運営母体での研修や、外部研修に定期的に各自参加させている。</p>			
14		<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他事業所との合同勉強会等へ参加し、サービスの質や向上に活かせるか検討している。</p>			

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>ご本人・ご家族様より想いや願いをも傾聴し信頼関係を築いている。</p>			
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>相談時間を十分に持つ。ご本人・ご家族様より情報を十分に得る。</p>			
17		<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご本人・ご家族様の意向を重視し他事業所の情報等をも把握し対応する。</p>			
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>なじみの関係であり、支え、支えられている関係を築いている。</p>			
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族の想いや願いを受け止め、共に本人を支えていく関係であるように努めている。</p>			
20	(8)	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>住み慣れた土地や、なじみのスタッフと共に生活が継続できるように支援している。</p>	<p>近くの家族や馴染みの方が自由に訪問できる雰囲気がつくられている。 ウッドデッキや共有空間でゆったりと過ごせるよう配慮している。</p>		
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>お互いに楽しい時間が共有出来るように努めている。</p>			

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	いつでも、ご相談や助言が出来るように努めている。			
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	本人の願いや思いを傾聴し、その人らしさを見つけている。	本人の生活歴を把握し、どんな話でも時間をかけて耳を傾けるようにしている。何時もと違う様子を感じられるようにしている。		
24		<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	これまでの生活環境に近い暮らしが出来るように支援している。			
25		<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	常に心身の状態の把握に努めている。			
26	(10)	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	計画作成時は、本人・家族の意向を反映し、スタッフ間で状態把握・情報の共有をし会議を行っている。	本人、家族の思いや意向を聞き状況変化に柔軟に対応し、介護計画を作成している。急激な変化時は、医療連携をとり見直しをしている。		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	日々の心身の状態の把握や、生活の様子を個別に記録している。			
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	本人のニーズ、家族のニーズ等にも対応出来るように取り組んでいる。			

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	近隣のボランティア等、活用する機会が多い。			
30	(11)	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	緊急時の対応、利用者様の健康状態をいつでも看護師に連絡をとり、適切な医療が受けられる体制である。	本人、家族の希望で事業所の協力医療機関をかかりつけ医としている。本人の健康状態を把握し、緊急時は迅速に対応することができ、24時間オンコール体制になっている。		
31		<p>看護職との協働</p> <p>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	常に(毎日)連携を取り、利用者様の健康管理を行っている。			
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	運営母体が、医療法人であるため、他機関との相談できる関係づくりも整えている。			
33	(12)	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	重度化した場合における対応に係わる指針を文書化し説明している。	入所時に終末期の対応、方針を文書化し説明している。ターミナルケアを行っており、管理者は職員のフォローが大切だと考えている。		
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	内部・外部研修に参加し自己研鑽している。			
35	(13)	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	避難訓練を取り入れ、地元の消防署と連携を図っている。	定期的に消防署の協力を得て、避難訓練を行っている。法人全体で非常用食料、備品を準備している。	避難訓練を行う日時を地域の方にお知らせして協力をいただけるよう期待したい。	

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様、一人ひとりの人格、人権を守り支援している。	一人ひとりの職歴等を配慮し、その方にあった関わり方をするようにしている。 言葉使いや声のトーンを意識した話しかけを心掛けている。 礼儀を持って接している。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様、一人ひとりに合った声かけ対応し、その都度、説明を行ったり行動が取れるような支援を行っている。			
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様、1人ひとりのその日のペースに合わせて行動が取れる様支援を行っている。			
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	当時着る洋服を選んでもらったり、出来る限り行っている。また、自己決定を促している。			
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	地元の食材を多く使い、馴染みのある献立を工夫している。	介助が必要な利用者に、食事をとおしてスプーンを持ってもらう等、残存機能を活かす支援をしている。 自家菜園の食材と一緒に収穫し献立作りをしている。		
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食の摂取量や水分量を記録に残し、全職員が把握している。			
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、歯磨きや義歯洗浄を実施し、管理に努めている。また、経管栄養の利用者様も口腔内清潔にしている。			

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一部の利用者様であるが、排泄の失敗が見られても、すぐオムツの着用はせず、余裕を持った排泄誘導等、ポータブルトイレでの排泄を中心に支援している。	排泄パターンを把握し状況を見ながら排泄時はタオルをかける等さりげなく支援している。 尿意のない利用者には話しかけ、説明しトイレ誘導している。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェックを行い、便秘がちな利用者様には、牛乳、ヨーグルト、オリーブオイル等を起床時に提供している。		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴の予定は立てているが、ご本人の希望時はいつでも入浴できるよう支援している。	車いす浴の設備があり、利用者の負担を軽減でき、安心感を持ってゆったり楽しく入浴できるよう支援している。 本人の希望に沿って何時でも入浴できるよう配慮している。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一日の流れにより、休息して頂く等、行っている。 また、日中の関わりにより安心して就寝していただけるよう支援している。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	全職員が利用者様1人ひとりのお薬を把握して、食前・後、服薬していただいている。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	環境が変わっても、趣味等が続けられるよう、支援している。 また、レクリエーションやアクティビティにも参加を促している。		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩、買い物等はいつでも出来るよう実行している。	ウッドデッキや敷地内にあるあずま屋に出かけ、日光浴をしたり自然に触れられ気分転換できるよう支援している。 散発等、希望する利用者は職員と一緒に車いすで出かけている。	

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>一部の利用者様のみ、自己管理されているが、その他は、管理者が小遣い帳にて管理している。</p>			
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>どの利用者様でも自由だが、実際は、一部の利用者様のみ電話等利用している。葉書や封筒が来た場合、耳元で読んでいます。</p>			
52	(19)	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>清潔で明るい環境作りが心がけている。また、ホームのウッドデッキ内の花壇には、果樹や草花があり、季節に応じ、ぶどうや梨の収穫を楽しむこともしている。</p>	<p>明るく風通しがよく感染予防の空気清浄器が設置され居心地の良い空間になっている。ウッドデッキがつながっており、季節感を味わうことができる。トイレは広々として利用しやすくなっている。</p>		
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ウッドデッキ内に設けたベンチは、散歩がてら1人で外を眺め過ごす場所に最適であり、実際そのように私用している。</p>			
54	(20)	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者様の目線に馴染みの物を置き、安心した生活を送れるよう工夫している。</p>	<p>広く明るく落ち着ける雰囲気になっている。これまでの生活で使用していた品物等を持ち込み家族や職員と一緒に模様替えをしている。</p>		
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>内部には、見慣れないものや危険なものは置かないようにしている。</p>			